

モニタリング結果報告書

施設 金沢若草園

指定管理者 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会

施設所管課 保健福祉部障害福祉課

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	備考(確認事項等)
5月	10日	月報を確認、改善すべき業務はなし
6月	10日	
7月	10日	
8月	10日	
9月	10日	
10月	9日	

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る **B: 提案どおり** C: 提案を下回る

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

(2) 実施状況等

<提案内容の概要>

施設に入所する障害者を地域生活に移行するため、居住の場であるグループホーム等への移行を進めるとともに、日中活動の場としての同園通所施設の利用促進や、家族のレスパイトや、緊急時等の短期的な入所サービスを提供する短期入所事業を提案した。

- ① 施設入所者の地域生活への移行に向け、利用者及び家族の納得できるグループホーム等への移行を進める。
- ② 地域生活に移行した後は、就労機会の提供の場として、同園通所事業の利用により支援する。
- ③ 家族の意向も踏まえながら、緊急対応も含めた短期入所事業により、地域生活移行後のアフターケアを充実する。

※補足

当園は入所及び通所による知的障害者授産施設であるが、障害者が地域で安心して暮らしていくことができる社会を目指し、地域での生活が可能な障害者には、施設から地域での生活に移行することが、今後の障害者福祉のあるべき方向であり、指定管理者の募集にあたって、施設入所者を地域生活に移行するための方策の提案を受けた。

<実施状況>

- ① 施設入所者数 18名 (平成20年4月現在)
8名 (平成21年9月末現在)
- ② 通所事業利用者数 35名 (平成20年4月現在)
45名 (平成21年9月末現在)
- ③ 短期入所事業利用者数 222名 (平成20年度上半期延人数)
305名 (平成21年度上半期延人数)

3 収支状況

(単位：千円)

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金)	その他収入			
年間予算額	158,068	27,565	120,665	9,838	158,068	0
上半期計 (a)	94,293	14,298	71,726 (67,743)	8,269	77,910	16,383
4月	14,849	2,635	11,894 (11,002)	320	6,600	8,429
5月	11,976	635	10,899 (11,432)	442	9,931	2,045
6月	22,824	9,123	13,370 (11,288)	331	21,696	1,128
7月	19,093	635	12,065 (9,848)	6,393	18,198	895
8月	12,557	635	11,524 (12,784)	398	10,092	2,465
9月	12,994	635	11,974 (11,389)	385	11,393	1,601
下半期計 (b)			()			
合計 (a+b)	158,068	27,565	120,665	9,838	158,068	0

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・利用料金については、制度改正に伴い利用料金制度が月額単位から日額単位に変更され、事業所の収入が減収したことを受け、国の事業運営安定化事業が創設されたことから、増収となっている。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況	ノートパソコン購入	115
積立等の状況	任意積立金(施設修繕のための積立)	(期首) 7,000
		(期末) 7,000

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容、当該期首及び期末の金額を記載する。

4 利用状況

(1) 入所及び通所利用（契約者数）

	入所利用			通所利用		
	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	9人	18人	△50.0%	42人	35人	20.0%
5月	9人	18人	△50.0%	42人	36人	16.7%
6月	9人	18人	△50.0%	42人	36人	16.7%
7月	9人	17人	△47.1%	43人	36人	19.4%
8月	9人	17人	△47.1%	45人	37人	21.6%
9月	8人	17人	△53.0%	45人	37人	21.6%

(2) 短期入所利用

	延べ利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
延べ利用者数計	305人	222人	37.4%
4月	64人	39人	64.1%
5月	65人	25人	160.0%
6月	62人	38人	63.2%
7月	41人	38人	7.9%
8月	31人	25人	24.0%
9月	42人	57人	△16.4%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

入所利用については、施設入所者の地域生活への移行を進めた結果が顕著に現れている。また、移行後のアフターケアとしての通所利用や短期入所利用が軒並み増加し、着実に指定管理業務が実施されている。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月			2			2
5月			3			3
6月			6			6
7月			14			14
8月			6			6
9月			0			0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	毎夕食後にデザートをつけて欲しい。	夕食後のデザートの提供回数を増やした。
職員対応	休憩チャイムが鳴っても仕事が終わらないのが嫌だ。	職員間で協議し、作業場毎に休憩時間を確保できるよう、休憩時間をずらす等、工夫し、利用者の理解を得た。
事業内容		
その他	運動を行いたい。(健康の為)	希望者が選択できるようサービス内容等を見直し、平成 22 年度からの実施に向けて、現在、検討を進めている。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	なし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	なし		
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

<p>指 定 管 理 者</p>	<p>指定管理施設として、3年半が経過し、施設入所者の地域生活への移行については、順調に進んでいるが、指定期間当初に移行を進めた利用者の緊急時の受入れ等も増加しており、地域で安心して生活できる環境が整うまでの支援の重要性を再認識している。</p> <p>また、制度改正に伴う減収が、現在は国の事業運営安定化事業により、増収となっているが、期限が区切られた（平成23年度末）事業であることから、将来の安定した施設経営を見据えて、利用者、家族の意向も踏まえつつ、より効率的な職員配置や効果的なサービス提供を引き続き検討していく。</p> <p>なお、指定管理業務全般において、計画通り実施できたと考えている。</p>
<p>施 設 所 管 課</p>	<p>施設入所者の地域生活への移行（入所利用者の減）を進めるとともに、通所利用や短期入所利用が増加しており、着実に、指定管理業務が実施されていると評価している。</p> <p>また、利用者サービスの向上や将来の安定した施設経営のため、職員配置や事業の見直し等が進められており、より良いサービス提供のための取組みが期待される。</p> <p>今後は、新たな事業展開を見据え、人材の育成等、より現実に向けた取組みが望まれる。</p>